

平成 28 年度 表彰者紹介・授賞理由

木村賞

黒岩 宣仁 氏（高知県立牧野植物園）

約 20 年に渡り、牧野植物園の園内整備に中心的な役割を果たし、高知県産野生植物の保全研究や海外での調査、教育普及、「五台山花絵巻」等のイベントに尽力するなど、植物園の充実と入園者拡大に大きく貢献した。

植物園功労賞

平成 28 年度該当者なし

坂崎奨励賞

二階堂 太郎 氏（国立科学博物館筑波実験植物園）

卓越した栽培技術で育成管理作業を統率し、子供向けに野菜や作物の栽培・展示や廃材の有効活用を考案するなど、植物園の維持管理や教育普及に尽力することで、入園者拡大に貢献した。

野崎 香樹 氏（武田薬品工業株式会社京都薬用植物園）

新しい知見を取り入れた香辛料や民間薬の植栽展示に努めた。また、リーダーとして年間を通じて親子対象の自然体験教室を行ない、植物園の教育普及に貢献した。

大久保 智史 氏（日本新薬株式会社山科植物資料館）

薬用植物、有用植物のコレクションの充実に努め、約 3000 種以上を収集した。*Curculigo latifolia* やキノウテンガイ等の有用植物の栽培研究に貢献した。

阿部 篤志 氏（一般財団法人沖縄美ら島財団）

キバナスゲユリやサガリランなど、沖縄の絶滅危惧植物の保全に尽力し、都市緑化植物や有用植物に関する調査研究に貢献した。

Aboc・CULTA 賞

Aboc・CULTA 賞は、特定非営利活動法人植物分類名称研究所 (NPO The Institute for Cultivated Plant Taxonomy) 及びアボック社からの寄付に基づき設立した賞で、植物園および関連施設における植物の学名や栽培品種名の適切な表示および利用の普及を振興するために授与するものである。(平成 21 年－30 年)

大原 隆明 氏 (富山県中央植物園)

サクラ属の分類学研究を長年行い、130 種類のサクラを収集し、正確な品種名の同定と展示を行った。また、北陸地方の 13 種類のサクラを新品種として発表し、イベントや出版を通じてサクラの正確な品種名の普及に貢献した。